



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年10月4日（火）



今朝のお話朝会は、医師・柴田紘一郎さんの話を紹介しました。柴田医師は、1971年にケニアに派遣されました。十分な設備もなく医薬品も不足する中、患者の不安や痛みを和らげるために寄り添い続けた方です。その功績は、映画「風に立つライオン」で多くの人々が知るところとなりました。柴田医師は、次のように語っています。「一日を気持ちよく過ごすには花を飾りなさい。一年の場合は種を植えなさい。百年の場合は木を植えなさい。一生の場合は心を大切にしまさい。」

私の話の中では、タブレットやスマホを使って人の心を傷つけてしまうことについても触れました。生きていくためには、自分の心を大切に、自分以外の人の心を大切にしなければなりません。子供たちには、人を傷つけるのではなく、人に寄り添い、心を大切にする人になってほしいと伝えました。



画像は5年生の体育の様子です。授業が始まって、本時のめあてを確認しているところです。担任がホワイトボードを使って、めあてや学習の流れを子供たちに示しています。どの教科でも、その時間に何を目標として学習するのかを明らかにすることは、学習効果を高めるために必要なことです。めあてに向かって学びを深めていくことで、わかるようになったこと、できるようになったことが実感できます。体育であっても、それは変わりません。

ちなみに、子供たちは日陰に集まって話を聞いています。これには二つの意味があります。一つは熱中症予防。もう一つは、子供たちがまぶしくないようにするためです。本校は、校舎の立地の関係で日陰ができやすいのですが、もし日陰がない場合は、子供たちから見て逆光にならないように担任は立ち位置を考えて話をします。



一年生が図工で描いていた絵が出来上がりました。虫と楽しく遊ぶ自分や友達の姿が元気よく描かれています。子供たちの想いや願いがよく表れています。見ているこちらにも、思わず笑顔になります。他の学年も図工で取り組んだ絵が廊下にずらりと飾られています。校内はちょっとした美術展のようです。

明日から個人面談が始まります。保護者の皆様にはお忙しい中、お時間をつくっていただきありがとうございます。ご来校の折には、ぜひ子供たちの作品をご覧くださいと思います。

